

## 日本学術会議化学委員会分析化学分科会（第24期・第4回）議事録(公開版)

日時： 平成30年11月16日（金）10:00-12:00

場所： 日本学術会議 6-A(1) 会議室

出席者（敬称略）： 一村信吾、加藤昌子、尾嶋正治、谷口功、竹内孝江、栄長泰明、齊藤公  
児、佐藤 縁

欠席者： 玉田 薫

記録： 佐藤 縁

## 配布資料：

資料番号なし 化学委員会分析化学分科会 第24期 第4回分科会 議事次第

資料 4-1-1 第24期 第3回分科会（2018年9月6日）議事録

資料 4-2-1 シンポジウム等の概要について（事後報告）

資料 4-2-2 シンポジウム出席者

資料 4-2-3 アンケート集計

資料 4-3-1 「学術の大型研究」提案準備に向けて

資料 4-3-2 大型研究提案

資料 4-3-3 ロードマップ2017

資料 4-4-1 分科会活動紹介記事（2018年9月11日提出）

資料 4-4-2A 会長メッセージ（2018年9月26日受領）

資料 4-4-2B 調査票への入力のお願（2018年9月26日受領）

資料 4-4-2C 分科会会議開催申請（2018年9月28日提出）

資料 4-4-3 会長協力依頼（2018年11月1日受領）

参考資料 日本化学連合シンポジウムプログラム 紹介

## 議事進行内容：

## 0. 配布資料確認

1. 第24期第3回議事録（資料4-1-1）：出席者全員で確認の後、これを承認した。
2. シンポジウム（9月6日開催済）について（資料4-2-1、4-2-2、4-2-3）：  
シンポジウムの内容および開催状況について一村委員長より説明があった。
  - ・本シンポジウムは既に事前申し込みで既に会場予定収容人数を超えており、会場には予備椅子を入れて対応した（111名参加）。参加者（4-2-2）をみると産業界の方の参加が多い。
  - ・続いて、資料4-2-3アンケートの結果等について説明があった（回答数およそ50名弱程度）。
3. 分析化学分科会紹介について（資料4-4-1）：  
日本学術会議のホームページ等に載せるための文章について報告した。前回分科会での議論を踏まえ、SDGsについても触れているものとなっている。
4. 今後の化学委員会・分析化学分科会開催について（資料4-4-2A、4-4-2B、4-4-2C、4-4-3）  
財政が今期逼迫している旨、一村委員長より説明があった（今後の旅費取り扱いについて）。今後12月27日、10時半から化学委員会全体会議があり、15時半より分析化学分科会を開催する予定である。
5. 学術の大型研究に向けて（資料4-3-1、4-3-2、4-3-3）
  - (1) 昨年の動向について、資料を用いて確認した。
  - (2) 論点を整理して検討することとした。

分析化学の視点から研究ターゲットの設定について議論した。

・いくつかのキーワードがあがってきた。人材育成の方向性や、ネットワークについても自由に意見交換を行った。

(3) 今後のすすめかた

前回ヒアリングまでいっている内容を踏まえて新たな構成で書き直す。次回 12 月分科会で引き続き議論し提案準備を行う。

以上